

Press Release

2026 年 7 月 7 日

大鵬薬品、製薬業界特有の品質管理業務を「intra-mart」で効率化 出荷判定で 74%の作業時間削減を実現

株式会社 N T T データ イントラマート

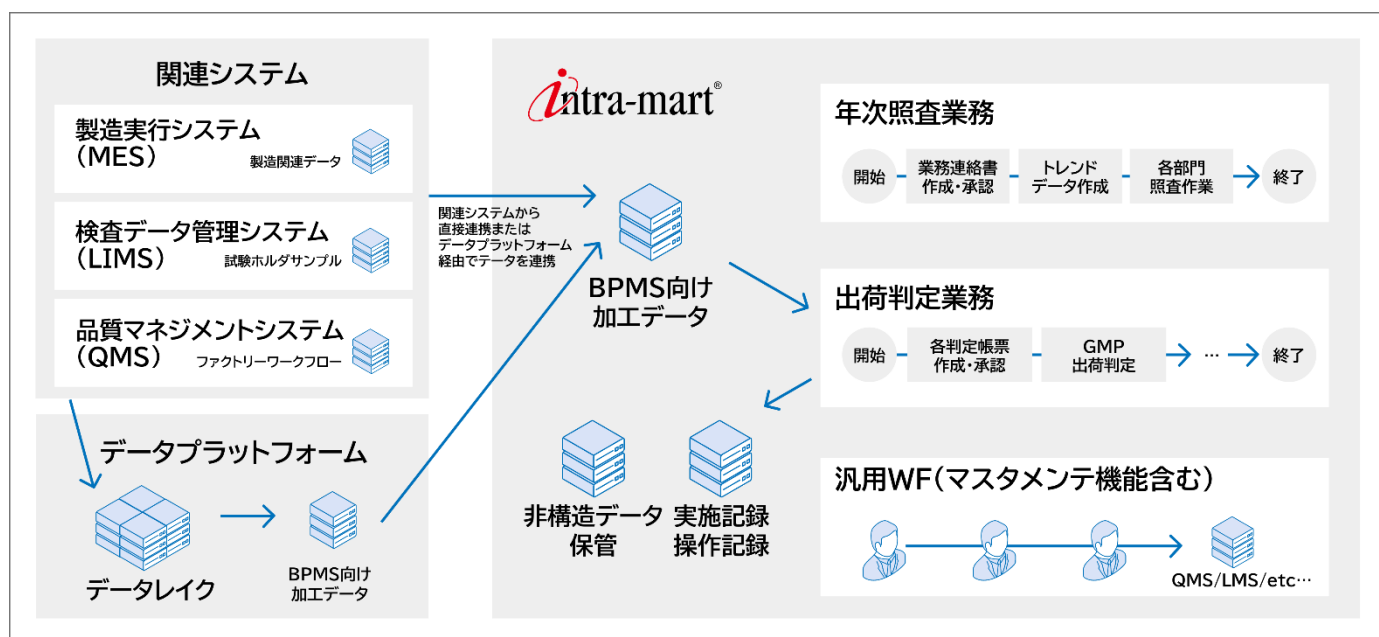
株式会社 N T T データ イントラマート（本社：東京都港区、代表取締役社長：中山 義人、以下 イントラマート社）は、大鵬薬品工業株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：小林 将之、以下 大鵬薬品）が、製薬業界特有の厳格な品質管理業務におけるデータ活用の効率化と業務プロセス全体の最適化を目的に、イントラマート社のエンタープライズ・ローコードプラットフォーム※1「intra-mart」を採用したことを発表します。複数システムや紙媒体に分散していたデータ収集・確認作業を横断的にデジタル化し、出荷判定で 74%、製品品質照査で 78%の作業時間削減を実現しました。

■ intra-mart 導入の背景

大手製薬会社の大鵬薬品は、コンシューマーヘルスケア領域の商品のみならず、独自の創薬プラットフォームを強みに革新的な医療用医薬品の開発にも取り組み、特に抗がん剤領域における強みを有しています。

デジタルテクノロジーの活用にも積極的な大鵬薬品は、かねてより MES（製造実行システム）や LIMS（試験室情報管理システム）などを活用し、製造・品質管理業務のデジタル化を推進していました。一方で、各システムが独立してデータを管理していたため、GMP（適正製造規範）のもとで実施される出荷判定や製品品質照査といったシステム横断型業務では、複数システムや紙媒体から必要な情報を手作業で収集・確認する必要があり、大きな業務負荷が発生していました。また、データ収集や分析プロセスの一部が属人化・暗黙知化していたことに加え、収集したデータが正確かつ改変なく揃っているかを人手で突き合わせる必要があり、こうしたデータインテグリティ確保のための確認工数の増大も課題となっていました。こうした背景から、厳格な品質管理要件への対応を前提としながら、業務プロセス全体を横断的に最適化する基盤として、intra-mart を採用しました。

■ 本システムの概要図



■ intra-mart を選んだ理由

- ・ GxP 対応を前提とした、製薬業界特有の厳格な品質管理や変更管理に対応
- ・ 国際標準の BPMN を活用した業務プロセス設計と、複数システムを横断したデータ連携
- ・ 自社の統制下で柔軟なシステム運用を実現
- ・ CPU 課金体系によるコスト優位性と、短期間での導入・開発を支援するパートナー体制

■ intra-mart の導入による効果

- ・ 出荷判定で 74%、製品品質照査で 78%の作業時間削減を実現
- ・ 複数システムや紙媒体に分散していたデータ収集・確認作業を効率化
- ・ 業務プロセスの自動化とユーザー部門も操作可能なマスタ管理機能により、運用効率が向上

なお、本システムの導入・開発にあたっては、イントラマート社のパートナーである、株式会社日本テクノ開発（<https://ntec-net.co.jp/>）がトータルに支援しています。

大鵬薬品では今後、他拠点への展開に加えて他業務での活用範囲拡大も視野に入れています。また、将来的に intra-mart における AI エージェント活用がさらに拡大することを期待するとともに、今回のシステム構築を契機に、日本テクノ開発が構想する製薬業界向けシステムのパッケージ製品の開発にも協力していく予定です。イントラマート社は今後も、多様化するお客さまのニーズに柔軟に応える製品開発と、業務プロセス改革の支援に努めてまいります。

■ 本事例の詳細は当社ホームページをご覧ください。

<https://www.intra-mart.jp/case-study/006480.html>

※1：エンタープライズ・ローコードプラットフォームは、企業内に存在する様々な業務システムを同一のプラットフォーム上に集約し、最新のデジタル技術を活用することで、IT 投資の効率化と業務プロセスの最適化・標準化を実現します。さらに、業務プロセスのフルオートメーション化をサポートする機能と API コンポーネント群を多数取り揃えており、スピーディかつ柔軟なローコードアプリケーション開発を可能にします。グループ企業全体での共同利用はもちろん、クラウド利用も可能です。

<https://www.intra-mart.jp/whats.html>

■ 株式会社 N T T データ イントラマートについて

株式会社 N T T データ イントラマートは、Web システム構築のための商用フレームワーク製品「intra-mart」の開発および販売を中心に事業展開しています。1998 年より、当社が企画、開発した独自のシステム開発フレームワーク、業務コンポーネント群、アプリケーションシリーズは、2026 年 3 月末時点で 13,000 社を超える企業へ導入されており、200 社以上のパートナーと共に、システム構築、コンサルティング、教育、運用支援に至るまでのトータルソリューションを提供しています。

社 名：株式会社 N T T データ イントラマート

代表者：代表取締役社長 中山 義人

設 立 : 2000 年 2 月
資本金 : 7 億 3,875 万円
売上高 : <連結>146 億 5,600 万円 (2026 年 3 月期)
従業員数 : <連結>508 名 (2026 年 3 月末時点)
事業内容 : 「intra-mart」の企画・開発・販売・保守およびその導入に関するコンサルティング・システム開発
・教育の提供。
H P : <https://www.intra-mart.jp/>

本件に関するお問い合わせ先	
企業・一般の方	報道関係の方
株式会社 N T T データ イントラマート	株式会社 N T T データ イントラマート
SMC 事業本部	経営戦略室
E-mail : contact@intra-mart.jp	E-mail : info@intra-mart.jp

※「intra-mart」は株式会社 N T T データ イントラマートの登録商標です。

※その他記載されている会社名、システム名、製品名は一般に各社の商標、又は登録商標です。